



絵本が与える子どもへの影響 ～読み聞かせと黙読～

初等教育コース 宇佐川 穂音

(指導教員 眞城 知己)

問題の所在と目的

近年、絵本はデジタル化が導入されるほど、子どもたちにとって今まで以上に絵本が身近になっており、子どもにとっても大人にとっても、物語を楽しむ大事な文化財である。言葉を学び、感性や想像力を豊かにし、より人生を深く生きていくために、読書はとても大切で必要不可欠といわれている今、教育現場で読み聞かせや黙読などの読書の時間が取り入れられている。絵本のストーリーや絵一つ一つを見て心の中で物語の世界観を描き、想像し、いろんな経験を通して成長していく。しかし、絵本は子どもの成長にどれくらい関わっているのだろうか。絵本の読み聞かせを行うことはどれくらい大切なのだろうか。音声情報が提示されていない黙読と読み聞かせでは、どのように絵本受容に肯定的な効果があるのか、教育的効果があるのかを私たちがイメージしている効果と情報を比較して研究を行う。それに追加して、印象に残っている絵本にはなにか共通点があるのかをアンケートを通して考察することを目的とする。

方法

調査対象・期間・方法

調査対象：関西学院大学教育学部生103名

調査期間：2022年11月10日

調査方法：質問紙調査（選択式と記述式の2種類）

調査項目と分析の視点・方法

- 1) 絵本は好きでしたか
(実際に読むのが好きだったのか、見るのが好きだったのか等を調査する)
- 2) 読み聞かせは好きですか
- 3) 上記で好きじゃない方に回答した理由を教えてください
- 4) 記憶に残っている絵本のタイトルを書いてください
(共通するものがあるのかを調べるため)
- 5) 過去に読んだ絵本で学べたことは何ですか
(振り返ってみて自分の成長にどう関わっているのかを調べるため)
- 6) 子どもにとって、教師が読み聞かせを行うことと、黙読をさせるのではどちらの方が教育的効果があると思いますか
(聞き手がどうとらえているのかを調べるため)
- 7) 上記で答えた理由を教えてください
- 8) 当てはまると思うものを1つ選んでください(絵本から教育的に効果がありそうなものを書き出し、読み聞かせ、黙読、両方の3つからの択一式)

結果

1) 絵本は好きでしたか

読んでもらうのが好きだった…41. 7%

読むのが好きだった…39. 8%

特定の本が好きだった…9. 7%

見るのが好きだった…6. 8%

好きじゃなかった…1. 9%

2) 読み聞かせは好きでしたか

大好きだった…39. 8%

まあ好きだった…49. 5%

まあ好きじゃなかった…7. 8%

好きじゃなかった…2. 9%

3) 上記で好きじゃない方に答えてくれた理由

- ・あまり本に触れてこなかったため、文字を読むのが遅くて苦手意識がある。
- ・自分のペースで読みたかったから。
- ・黙って聞くのが苦手だったから。
- ・興味がなかった。

4) 記憶に残っている絵本のタイトルを書いてください

- ・ぐりとぐら
- ・はらぺこあおむし
- ・ネズミのチョコ
- ・おまえうまそうだな
- ・寝ないこだれた
- ・もったいないばあちゃん
- ・そらめくくんシリーズ などなど…

5) 過去に読んだ絵本で学べたことはなにかありますか

- ・やさしさ
- ・言葉や感情の表し方、伝え方
- ・人や仲間を想う気持ち
- ・ご飯を残してはいけないこと
- ・悪いことではいけないこと
- ・誰かと協力することで達成できることがあること
- ・悪いことをしたら自分に返ってくること
- ・悪いことをしたらすぐに謝らないといけないこと

6) 子どもにとって、教師が読み聞かせを行うことと、黙読をさせるのはどちらの方が教育的効果があると感じますか。

読み聞かせ…83. 5%

黙読…16. 5%

7) 上記で答えた理由を教えてください。

◎読み聞かせと答えた方

- ・目だけでなく、耳からも情報が入ってくるから内容が理解しやすく、記憶に残りやすいと思ったから。

- ・人とコミュニケーションをとることにつながったり、自分がまだ理解できない感情を読み取ることもつながったりするのではないかと感じたから。
- ・抑揚や気持ちを乗せて読むことで感情の表し方や言葉の発音等も学ぶことができると思うから。

◎黙読と答えた方

- ・自分で読む方が理解できるから
- ・自発的な学びにつながるから
- ・自分で読んで想像する方が理解力や想像力が身に付くと思うから。

8) 読み聞かせ、黙読、その両方の中から当てはまると思う教育的効果を1つ選んでください。(票)

- ◎感情が豊かになる
- ・読み聞かせ…61、黙読…2、両方…40
- ◎安堵感
- ・読み聞かせ…74、黙読…11、両方…18
- ◎爽快感
- ・読み聞かせ…51、黙読…25、両方…27
- ◎集中力が身に付く
- ・読み聞かせ…9、黙読…54、両方…40
- ◎知的好奇心を刺激する
- ・読み聞かせ…46、黙読…9、両方…48
- ◎想像力が高まる
- ・読み聞かせ…32、黙読…29、両方…42
- ◎コミュニケーション能力が高まる
- ・読み聞かせ…81、黙読…2、両方…20
- ◎気晴らし効果が期待される
- ・読み聞かせ…43、黙読…20、両方…40
- ◎読解力が高まる
- ・読み聞かせ…6
- ・黙読…79
- ・両方…18
- ◎国語力
- ・読み聞かせ…8、黙読…56、両方…39
- ◎精神状態を落ち着かせることができる
- ・読み聞かせ…25、黙読…37、両方…41
- ◎長期記憶しやすい
- ・読み聞かせ…48、黙読…28、両方…27
- ◎感情のコントロールがしやすくなる
- ・読み聞かせ…50、黙読…14、両方…39
- ◎読書スピードが上がる
- ・読み聞かせ…3、黙読…95、両方…5
- ◎語彙力を高めることができる
- ・読み聞かせ…8、黙読…50、両方…45
- ◎子どもの不安感を減らせる
- ・読み聞かせ…79、黙読…4、両方…20
- ◎想像力を養うことができる
- ・読み聞かせ…35、黙読…18、両方…50
- ◎学力能力の向上
- ・読み聞かせ…9、黙読…41、両方…53
- ◎文章を理解する能力が身に付く
- ・読み聞かせ…9、黙読…55、両方…39
- ◎絆が深まる
- ・読み聞かせ…82、黙読…0、両方…21
- ◎記憶力が高まる
- ・読み聞かせ…26、黙読…28、両方…49
- ◎前頭前野が鍛えられる
- ・読み聞かせ…19、黙読…16、両方…68
- ◎喜怒哀楽が分かりやすくなる
- ・読み聞かせ…61、黙読…0、両方…42

考察

本研究で、その絵本のもつ世界観を存分に味わい、その物語に感動したり、驚いたり、時には悲しい気持ちを体験したりすることができる。そうした中で絵本の中に書かれている絵の美しさ、力強さ、繊細さを感じ、いくつかの文章表現の面白さを知ることができ、身体いっぱい絵本を感じる、それだけでも絵本を読む意義のあることが示唆された。また、年齢によって読み聞かせと黙読では教育的効果の良さの有無が異なるのではないかと大学生が考えていることがうかがわれた。

アンケート調査からは、家族や先生から読み聞かせをしてもらっていた子どもの方が、より意識・能力が高いように感じられた。一人で静かに読む黙読では経験しない要素であり、読み手と聞き手との関係の存在によって、より強く印象に残ることを感じさせられた。

「絵本の読み聞かせの意義」では人間は体験を通して成長すると言われているが、体験には直接体験と間接体験があり、人間の成長に関わる体験は、直接体験が中心である。それは、五感を最大限使って感じたりする中でしか得ることができない知識や感覚があり、それが成長をうながす材料になると考えられるためである。しかし、現代の子どもは1日の大部分を保育所や幼稚園で過ごす中で、直接体験の機会も減少しているのではないだろうか。家庭だけでなく教育現場での直接体験をより多く取り入れる必要があるのではないだろうか。

読み聞かせは読み手側にもメリットがあることが分かった。「落ち着きがない」「機嫌が悪い」などのこどもの問題行動が減少し、ストレスが軽減され、保育士や教師だけに限らず、保護者にも子どもと過ごす時間の大切さや居心地の良さをお互い感じることができていると考えられている結果が得られた。子ども自身の言語能力の向上もあると考えられていた。このことから読み聞かせは脳の活性、心の発達、問題行動に効果を発揮するだけでなく、読み手側にもとてもメリットのあるものである可能性を感じた。幼稚園・小学校などの教育現場のみならず、家でも読み聞かせを行い、本に向き合うことが子どもの成長のためにもとても大切であると私は考える。